

令和5年度(2023年度) 重点課題について

H28・H29	2年間	計画の周知
H30・R元・R2	3年間	「青壮年期への働きかけの強化」 「糖尿病予防に向けた取組」
R3・R4	2年間	「青壮年期への働きかけの強化」 「生活習慣によるがんの予防と早期発見の取組」

重点課題(案)

- ①「青壮年期への働きかけの強化」
- ②「生活習慣によるがんの予防と早期発見の取組」

令和5年度(2023年度)は新たな切り口へ取組を広げながら、

重点課題を継続していきたい

「企業」「働き盛り世代」を中心に取組を展開

からだスツキリ講座
(企業向け出前講座)

R4 のべ**359**人
13企業19回
継続支援も実施

健康づくり宣言

R4 **618**人
35企業参加
市役所 **197**人

市内企業対抗
歩数ランキング

R4 **18企業参加**
新潟県健康
アプリの活用

企業訪問

R4 **14企業**
現状把握
事業紹介

かしわざき健康
サポートカンパニー

R4 **18企業** 8~12月
1,439人 (従業員数)

広報かしわざき・ホーム
ページでの取組企業紹介

地元紙新年特集号でも
「健康経営」に関する特集

- 商工会議所、協会けんぽ等の協力を得て、情報発信
- 企業で働く人達へ直接、働きかけが出来るようになった。
- 企業とのつながりを持てたことで、企業が抱える健康課題やニーズを知ることが出来るようになってきた。

課題： 参加企業の新規開拓
企業の健康づくりへの関心の底上げ

健康づくり推進会議でいただいた御意見

- ・保護者を含めての教育は効果があると思う。保護者が関心を持てば、家庭での食事が子どもの頃から習慣化すると思う。
- ・子ども達に自分の事として落とし込む、具体的に示すことが必要。
- ・時間に余裕がない保護者にでも、できそうと思ってもらえる様な食事の提案、発信をしてもらいたい。

庁内連絡会議、子育て世代の保護者に関わる担当者から

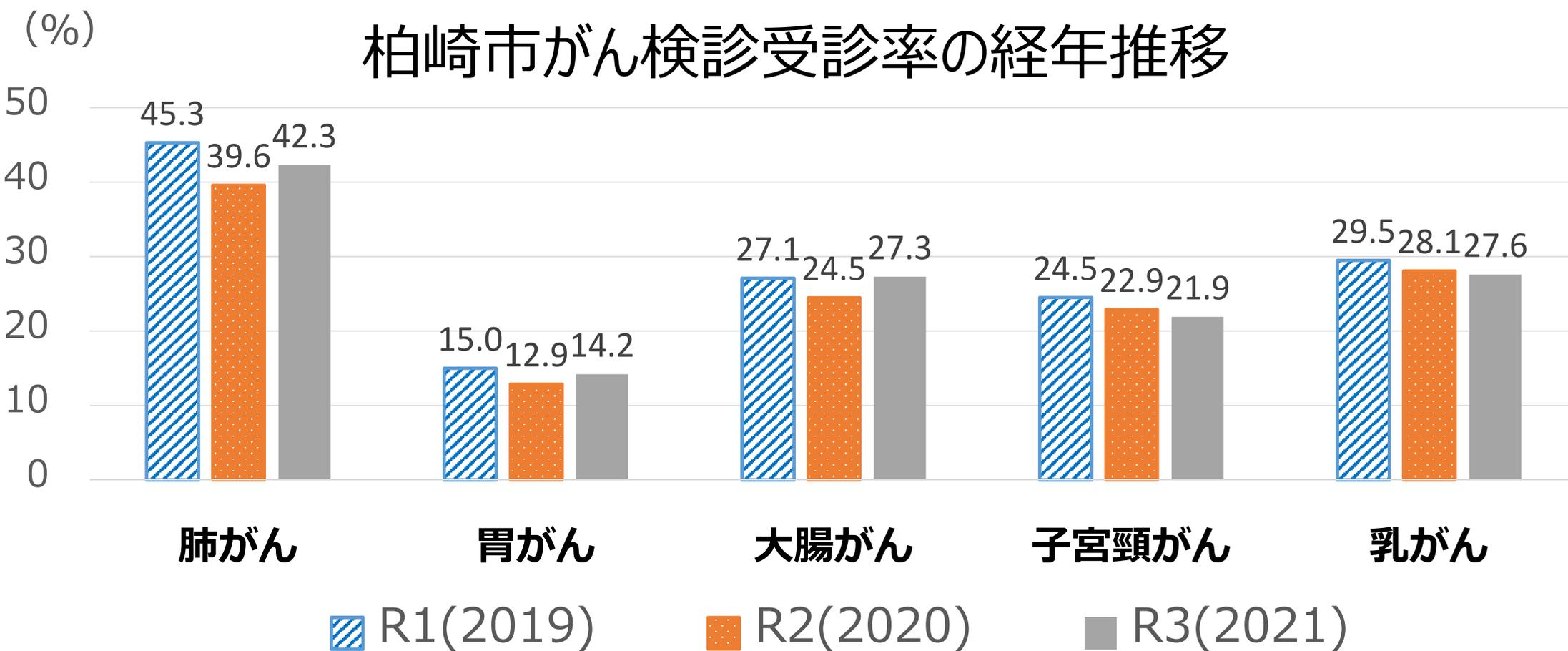
- ・乳幼児健診で保護者からの生活習慣（食事や排せつ）の相談が少なくなっている。保護者の関心が向いていない？
- ・望ましい生活習慣と実際の生活実態に差異を感じる。その違いを埋めきれない。
- ・コロナ禍で、感染対策の優先度が高くなっている。集団での健康教育の場が確保できない。
- ・直接保護者に生活習慣について伝え、話せる機会が持てていない。現状が見えにくくなっている。

①「青壮年期への働きかけの強化」

- ・企業や働き盛り世代への取組を継続する
- ・新たな切り口として、子育て中の「保護者世代」もターゲットに取組を強化していく

「生活習慣によるがんの予防と早期発見の取組」

柏崎市がん検診受診率の経年推移



課題：受診控えからの改善傾向があるが、コロナ禍前には戻っていない

市民の目に触れる取組、サポートセミナーの開催

がん検診受診勧奨

- ・ 健診日程の世帯配布
- ・ 公式LINEでの日程案内
- ・ 特定健診での受診勧奨

広報かしわざき 特集記事掲載

- ・ 健診受診勧奨
- ・ 相談窓口、療養の取組

がんサポート セミナー

- ・ がん当事者、家族が集う機会

課題：がん治療と生活（家庭や仕事）の両立支援
市内のがん療養の情報の周知不足

②「生活習慣によるがんの予防と 早期発見への取組」

- がん検診受診率向上への取組を継続する
- **がん当事者と家族へのサポート体制や
相談窓口の周知**などの取組を強化
(令和5年度 ウイッグ・補整具などの費用補助を検討)

令和5年度(2023年度)重点課題(案)

①「青壮年期への働きかけの強化」

- ・子育て中の「保護者世代」

②「生活習慣によるがんの予防と 早期発見の取組」

- ・サポート体制
- ・相談窓口の周知